

# 自然の家だより

令和元年  
7月16日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地  
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 E-mail gishizen@he.mirai.ne.jp URL https://gikyobun.or.jp/gishizen/

## 表情ゆたかなネムノキ

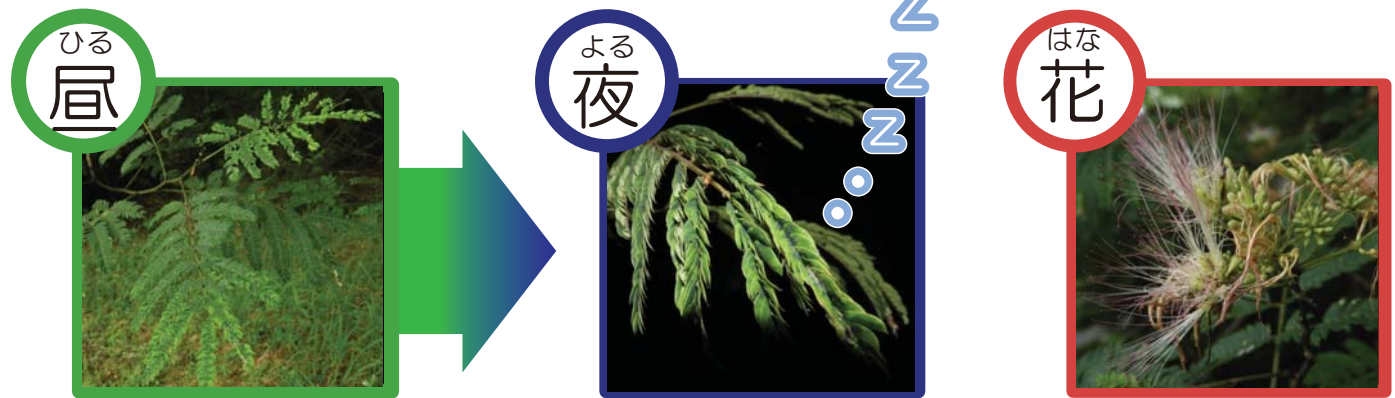
自然の家へ向かう坂のふもとに、左右いっぱい枝葉を  
ひろげたネムノキが、皆さんをお出迎えしています。

このネムノキは7月～8月になると、枝先に10～20もの  
あわいらいピンク色の花を一斉に咲かせています。

名前の由来は、夜になると葉が『眠』ったように閉じ  
る姿からつけられたといわれています。昼は光合成の  
ために葉を広げ、夜は木の中にある水分の放出を防ぐため  
に閉じると考えられています。



▲自然の家のネムノキ



## ネムノキだけじゃない、昼夜で様子が変わる植物たち

タンポポやカタバミ、シロツメクサも夜になると花や葉が閉じます。  
また、自然の家の玄関に置かれている月下美人は、逆に夜、美しい白い花を  
咲かせ、とても良い香りを出します。

これは、夜の生き物である蛾やコウモリをひきつけ、受粉を促すためです。

夏休みの自由研究などで、植物の昼と夜との違いを観察してみても良いかも  
しれませんね。



▲シロツメクサ



▲タンポポ



▲月下美人